


武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	新青梅街道沿道まちづくり推進事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり				
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係	内線	272
	根拠法令等	都市計画法				
目的	新青梅街道沿道地区まちづくり計画に基づき、新青梅街道拡幅整備事業の進捗に合わせ、沿道地区の用途地域等の変更及び地区計画の策定を行い、沿道のにぎわいのある良好なまちづくりを推進する。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	新青梅街道第2工区（神明四丁目地内～中央一丁目地内、約1.2km）及び第3工区（中央一丁目地内～三ツ藤三丁目地内、約1.6km）の区域について、用途地域等の変更及び地区計画の策定を行う。					

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	年度業務の計画的な推進	—	目標	—	都市計画変更	—
				実績	—	都市計画変更	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見								
		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算								
事業費（千円）	財源内訳	0	4,895	0	—							
	一般財源	-	4,895	-								
	国都支出金	-	0	-								
	その他	-	0	-								
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,543	1,037	0								
	所要人員（人）	0.19	0.13	0.00								
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0								
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00								
合計（事業費+人件費）		1,543	5,932	0								


視点別の分析	妥当性		有効性		効率性		
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当				

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
住民説明会を実施し、第2工区及び第3工区の用途地域の変更及び地区計画の決定を行った。 これにより、市内新青梅街道沿道に係る都市計画変更事業は完了した。	—

令和4年度の方針				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	今後の方針			
【今後の方向性】 今後も、東京都の多摩都市モノレール延伸の進捗に合わせ、本市の「モノレール沿線まちづくり構想」を踏まえながら、将来の需要創出につながる沿道のまちづくりを引き続き適切に誘導していく。	コスト			
	削減 維持 増加			
	向上 維持 低下			
	成果			
	向上			
	維持		○	
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	都市核地区土地区画整理事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり			
	所管部署	都市整備 部	区画整理 課	区画整理 係	内線 282
	根拠法令等	土地区画整理法			
	目的	市の都市核にふさわしいまちづくりを行うために、将来の商業核形成を誘導するべく、住工の混在をできるだけ解消し、良好な住宅地の形成と魅力あるまちの実現を目指す。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	行政機関等が立地している中心部に位置しながら、市街地の進展や商業集積が立ち遅れた状態にあり、狭い道路に沿って住宅地が立ち並ぶため、土地区画整理事業の実現により都市基盤整備を行う。 (区域：本町一丁目及び榎三丁目の各一部、面積：30.9ha)				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	移転補償件数 (建物移転補償案件及び工作物移転補償案件)	件	目標	70	73
			実績	62	51	
			達成率	89%	70%	
2	仮換地指定率 ※道路等の公共施設工事により、土地の区画を変更し、従前の土地(現在の土地)に代わり、新たに使用可能とする土地(仮換地)を指定した割合	%	目標	70	80	85
			実績	68	76	
			達成率	97%	95%	


事業経費	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)	1,279,092	1,522,493	1,195,350		
財源内訳	一般財源	481,341	621,705		960,696
	国都支出金	277,775	482,350		144,700
	その他	519,976	418,438		89,954
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0		0
	所要人員(人)	0.00	0.00		0.00
	会計年度任用職員(千円)	0	0		0
	所要人員(人)	0.00	0.00		0.00
合計(事業費+人件費)	1,279,092	1,522,493	1,195,350		

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度に国や都の補助を受けて実施するものは、建物等の移転補償8件及び道路築造や整地等の工事3件としており、工程のとおりに進捗することができた。 なお、正規職員人件費及び会計年度任用職員人件費は、事業費に含む。	多摩都市モノレールの延伸(都市計画決定)に向け、早期に事業を完了させる必要がある。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
本町・榎地区については、本市の都市核として、市の拠点にふさわしい都市機能を集積し、道路、公園などの都市基盤の整備を進めている。モノレール延伸後を見据え、引き続き、今まで以上に親切かつ丁寧な事業説明を行うとともに、数多くの権利者と対話を重ねることで、事業推進を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	用途地域等の見直しに伴う都市計画変更事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり			
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係	内線 272
	根拠法令等	都市計画法			
	目的	前回の区域区分の変更から17年が経過し、区域区分及び用途地域の境界根拠としている地形地物の変化が生じている。これに伴い東京都で一括して実施する区域区分等の変更に合わせて、市決定の用途地域に関する都市計画変更を行うものである。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	以下の予定で業務を行う。 令和3年度：変更箇所抽出業務、令和4年度：住民説明会等、令和5年度：都市計画案の作成、令和6年度：都市計画変更				

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	年度業務の計画的な推進	—	目標	—	素案作成	説明会等実施
				実績	—	素案作成	
				達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		0	5,027	5,104	
財源内訳	一般財源	-	5,027	5,104	
	国都支出金	-	0	0	
	その他	-	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,867	2,393	2,293	
	所要人員(人)	0.23	0.30	0.30	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		1,867	7,420	7,397	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

所管課の評価	令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
	一般競争入札により、3か年の業務委託契約を締結し、令和3年度の業務内容である都市計画変更箇所の抽出及び都市計画素案の作成を行った。業務計画どおりに成果品の納品を完了した。	—

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
引き続き、令和4年度の業務計画に基づき、受託業者との連絡調整を適切に実施し、住民説明会及び都市計画案の作成準備等を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	村山工場跡地関連事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり				
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係	内線	272
	根拠法令等	都市計画法				
目的	村山工場跡地利用協議会により取りまとめられたまちづくり方針に基づき、土地利用計画の熟度に合わせ、公共施設等の整備を推進し土地利用を進める。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	道路整備計画に関する関係機関協議や土地利用計画の具体化に合わせた都市計画変更の検討などを行う。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	道路整備計画等に関する関係機関協議の推進	—
			実績	推進	推進	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		0	0	0	
財源内訳	一般財源	-	-	-	
	国都支出金	-	-	-	
	その他	-	-	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,056	1,037	1,987	
	所要人員(人)	0.13	0.13	0.26	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		1,056	1,037	1,987	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
地区計画に位置付けられた地区施設の道路整備方針等に関し関係権利者及び関係機関との協議調整を行った。	計画道路の協議に当たっては、第四次優先整備路線に選定されている立川都市計画道路3・4・39号武蔵砂川駅複線(区間:立川3・3・3~武蔵村山市大南一丁目)と接続協議に時間を要することが想定されている。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
村山工場跡地は、地区計画制度により都市基盤施設の整備を図るとともに、地域の活力やにぎわい創出に資する土地利用を誘導し、多様な機能が集積する市の中心市街地としてふさわしいまちづくりを進める必要がある。 引き続き、関係機関との連絡調整を適宜行い、関係者協議を進め、道路整備に関する協議調整を行うとともに、都市計画変更に関する検討を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	都営村山団地再生計画関連事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、公営住宅法		
	目的	都営村山団地の地域再生及び活性化を図るため、東京都との協定に基づき団地再生計画事業を推進する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	都営村山団地後期計画事業に伴う東京都との協議調整を行い、円滑な建替え事業を進める。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	団地後期計画事業、第2期計画、第3期計画に関する協議調整	—	目標	推進	推進
			実績	推進	推進	
			達成率	—	—	
2	団地敷地内に存する旧赤道の財産処理に関する協議調整の推進	—	目標	推進	推進	推進
			実績	推進	推進	
			達成率	—	—	

事業経費	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）	0	0	0	
財源内訳	一般財源	-	-	
	国都支出金	-	-	
	その他	-	-	
会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,299	1,277	1,223	
人件費	所要人員（人）	0.16	0.16	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）	1,299	1,277	1,223	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
後期計画事業内の第2期計画に関する協議調整を進めた。 団地敷地内に存する旧赤道の財産処理等について、協議調整を進め、協定を締結した。	団地創出用地の将来土地利用に関し、多摩都市モノレールの延伸を見据え、にぎわい創出に資する土地利用を誘導するよう東京都と協議調整を行っていく必要がある。

【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																
都営村山団地後期計画事業の計画的な実施を東京都に要請するとともに、多摩都市モノレールの延伸を見据え、市民生活を支援する商業・サービス機能などの誘導について検討を進めていく。引き続き、関係機関との連絡調整を適宜行い、関係者協議を進め、建替え事業の円滑な推進を図っていく。																				
				今後の方針 コスト <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		削減	維持	増加	向上				成果維持		○		低下			
	削減	維持	増加																	
向上																				
成果維持		○																		
低下																				
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）																				



武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	横田基地軍民共同使用推進事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり			
	所管部署	企画財政 部	企画政策 課	企画政策 係	内線 373
	根拠法令等	—			
	目的	横田基地の整理・縮小・全面返還に向けた過程の一つとして横田基地の軍民共同使用を推進し、多摩都市モノレールの早期延伸の実現や、人の交流や物流の拡大により基地周辺地域の活性化を図る。			SDGsの取組 17 パートナーシップで目標を達成しよう 
内容	横田基地の軍民共同使用に関する情報収集を行う。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	情報収集の実施	—
				実績	実施	
				達成率	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		0	0	49		令和4年3月予算特別委員会等で「軍民共用の実現は難しいのではないか」、「軍民共用化を推進していくべきである」との意見があった。
財源内訳	一般財源	-	-	49		
	国都支出金	-	-	0		
	その他	-	-	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	210	206	198		
	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		210	206	247		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか		
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響		
		<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か		
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か		
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か		
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か		
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、東京都と本市を含め5市1町から構成される横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会において、情報交換を行った。 東京都は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会期間中における横田基地の民間航空機の一時的利用を要望していたが、大会が無観客開催となったことから、実現には至らなかった。	東京都及び横田基地周辺自治体で、立場の相違がある。

令和4年度の方針																				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																			
横田基地の民間航空機利用について、東京都は継続して取り組む姿勢であることから、「国と東京都の実務者協議会」における動向を注視し、引き続き東京都と連携しながら横田基地の軍民共同使用に関する情報収集を行う。	今後の方針 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (廃止・休止・終了の場合は記入不要)	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持		○																		
低下																				

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地籍調査事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 1 都市づくり		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	管理 係 内線 266
	根拠法令等	国土調査法 国土調査促進特別措置法		
	目的	地積の明確化により、被災後の復旧、復興事業の迅速化を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	予定年度：平成27年度より 調査箇所：大規模国有地、区画整理事業区域、日産工場跡地及び都市計画公園を除く市内全域 調査面積：10.70Km <sup>2</sup> 、調査手法 都市再生地積調査事業、官民境界石埋設、図面等作成			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	地籍測量実施面積	Km <sup>2</sup>
			実績	0.15	0.13	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
事業費（千円）	35,150	3,289	31,592	—		
財源内訳						
一般財源	18,349	3,289	9,738			
国都支出金	16,801	0	21,854			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,922	2,872	2,752			
所要人員（人）	0.36	0.36	0.36			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	38,072	6,161	34,344			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和3年度時点、事業対象面積（10.7Km <sup>2</sup> ）に対する実施済面積は0.49Km <sup>2</sup> であり、進捗率は5%となっている。	令和3年度、補助金の交付展開に向けた国との協議を実施しており、その結果、今後も継続して協議していく必要があるため、事業予定も変更となる可能性がある。

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
地籍調査によって土地の境界や面積などを正確にし、被災後の復旧や復興作業の迅速化を図るものであることから、今後も継続する必要がある。			
今後の方針			
コスト			
	削減	維持	増加
成果	向上		○
	維持		
	低下		
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）			

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	立川都市計画道路3・4・39号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
目的	第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業を活用し、立川都市計画道路3・4・39号武蔵砂川駅複線（区間：学園一丁目25番地先～榎三丁目22番地先、幅員16m、延長約400m）を整備する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを		
内容	立3・4・39号（学園一丁目25番地先～榎三丁目22番地先）までの約400mの区間を整備するもの。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	年度業務の計画的な推進	—	目標	推進	認可取得	推進
				実績	推進	未取得	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		23,250	12,315	37,940	
財源内訳	一般財源	5,270	0	6,600	
	国都支出金	17,980	12,315	31,340	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	6,250	6,142	5,885	
	所要人員（人）	0.77	0.77	0.77	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		29,500	18,457	43,825	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性 <td rowspan="2">市民との協働により事業を実施しているか</td> <td><input type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 非該当</td>	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性 <td rowspan="2">民間委託等は可能か</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は大きい</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は少ない</td> <td><input type="checkbox"/> 非該当</td>	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
率性 <td rowspan="2">事業費の更なる削減は可能か</td> <td><input type="checkbox"/> 適切である</td> <td><input type="checkbox"/> 不適切な部分がある</td> <td><input type="checkbox"/> 非該当</td>	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
妥当性 <td rowspan="2">類似事業等との統合は可能か</td> <td><input type="checkbox"/> 困難である</td> <td><input type="checkbox"/> 検討の余地がある</td> <td><input type="checkbox"/> 非該当</td>	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当


令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和2年度に引き続き、交通管理者協議資料を整え協議を完了し、事業認可の取得に向けた事前協議後、認可申請を行った（事業認可は未取得）。令和3年度に予定していた電線共同溝予備設計委託業務は完了した。	令和4年度は、事業認可取得後速やかに市民に対する用地説明会を実施するとともに、不動産鑑定評価委託、物件補償及び算定業務委託を実施する必要がある。

【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
事業の効果的かつ効率的な実施に配慮しつつ、当該路線の早期整備に向けて、引き続き、関係機関との連絡調整を適宜行い、用地取得等を進めていく。				
成果	今後の方針			
	コスト			
		削減	維持	増加
向上				
維持		○		
低下				

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)



武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	立川都市計画道路3・4・40号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	用地 係 内線 275
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
目的	東京都における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）において優先整備路線として位置付けられている立川都市計画道路3・5・20号東大和武蔵村山線へ接続する路線であり、当該路線の整備により総合体育館等へのアクセス向上及び沿線の防災安全面などの環境改善を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	青梅街道峰交差点から立3・5・20号線まで（幅員16m、延長約133m）において当該路線を整備する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	当該地の維持管理	—
				実績	維持管理	維持管理
				達成率	—	—
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		572	562	666		—
財源内訳	一般財源	572	562	666		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	82	80	77		
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		654	642	743		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
率性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
事業に係る用地取得は完了しているが、工事着手までの期間において、当該用地の維持管理として年5回の除草作業を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●青梅街道以南の都市計画道路（都道）の整備が未着手であることから、交差点の線形を確定するため、関係機関との調整が必要である。</li> <li>●整備効果の発揮には、第四次事業化計画の優先整備路線として選定された立3・5・20号の整備が必要である。</li> <li>●事業を休止したため、補助金の導入、事業認可の再取得の可否は、現時点では不明である。（平成17年度をもって事業認可期間が切れている。）</li> </ul>

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
本事業の整備効果の発揮には、第四次事業化計画の優先整備路線として選定された立3・5・20号線の整備が必要であり、それが進行するまでは適宜当該用地の除草作業を行い現状維持を計る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>（廃止・休止・終了の場合は記入不要）</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	立川都市計画道路3・5・20号線整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
目的	東京都における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）において優先整備路線に選定された立川都市計画道路3・5・20号東大和武蔵村山線を整備する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		
内容	主要市道第17号線～立川都市計画道路3・4・40号松中残堀線まで（幅員12m、延長約680m）について、令和7年度までに優先的に整備すべき路線として位置付けられていることから整備事業の着手に向けた検討を進める。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	現況測量、交通量調査等業務の実施	—	目標	調査検討	調査検討	調査検討
				実績	未実施	未実施	
				達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
会計年度任用職員以外の職員（千円）		82	80	77
人件費	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		82	80	77

市民・議会等から寄せられた意見

—

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
調査検討未実施	当該路線の整備に当たっては、接続路線である立3・4・40号線と合わせた整備が必要である。


【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

第四次事業化計画において令和7年度までに優先的に整備すべき路線として選定されていることから、事業の効果的かつ効率的な実施に配慮しながら、整備事業の着手について調査検討を行う必要がある。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 1号線交差点整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備部 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	道路法		
目的	(主) 1号線 (区間: 学園通り交差点~団地西通り交差点、幅員12m、延長約630m) は、路線バスや大型貨物車等の車両通行による利用頻度が高く、損傷による劣化が進行している。特に、(主) 6号線 (区間: 緑が丘1460番地先~大南五丁目1番地先) 及び同7号線 (区間: 学園三丁目37番地先~大南五丁目1番地先) との交差点部の劣化は著しく、振動による家屋のひび割れや睡眠障害等の苦情が多数寄せられているため、路盤も含めて改修する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	交差点部改修工事 舗装工 (3層25cm) 路盤工 (2層40cm)			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	交差点部改修工事	箇所
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費 (千円)		0	0	0	
財源内訳	一般財源	-	-	-	
	国都支出金	-	-	-	
	その他	-	-	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員 (千円)	82	80	77	
	所要人員 (人)	0.01	0.01	0.01	
	会計年度任用職員 (千円)	0	0	0	
	所要人員 (人)	0.00	0.00	0.00	
合計 (事業費+人件費)		82	80	77	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
率性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
実施計画には「検討」と位置付けられているため、事業の実績なし。	本市の幹線道路であるため舗装構造等が充実しており、改修に要する経費も多く必要とする。

令和4年度の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 引き続き実施計画事業として要求し、要望に対応していく。			
成果	今後の方針 コスト 削減   維持   増加			
	向上			
	維持		○	
	低下			
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)				

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 2号線交差点整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、道路法		
目的	土地区画整理事業の進捗、大規模商業施設の増床計画、多摩都市モノレールの延伸による歩行者量の増加を見据え、快適な歩行者空間の確保を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	榎一丁目6番地先において用地取得及び歩道拡幅を行い、ゆとりある歩行者空間を整備する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	整備時期等に関する調査検討	—
			実績	調査検討	調査検討	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		0	0	0	
財源内訳	一般財源	-	-	-	
	国都支出金	-	-	-	
	その他	-	-	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	82	80	77	
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
	合計(事業費+人件費)	82	80	77	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
事業費の更なる削減は可能か	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
周辺の土地開発等の動向把握を行った。	周辺の土地利用動向を踏まえつつ、整備時期等を検討する必要がある。

【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
市民の安全で快適な交通を確保するため、幹線道路との有機的な結び付きに配慮しながら、土地区画整理事業を始めとした周辺の土地利用の動向を見極め、歩行者空間の確保に関する検討調査を行った上で用地取得等に着手していく。				
成果	今後の方針			
	コスト			
	削減	維持	増加	
向上				
維持		○		
低下				

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 12号線拡幅整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	道路法		
目的	地域防災計画で指定されている災害時の緊急活動重要路線として整備するとともに、都市計画マスタープランで示されている、補助幹線道路としての道路ネットワークの整備を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	延長約370m、現況幅員5.46mから10.57mの道路を12mに拡幅（交差点部14m）する。用地買収面積、約2,820㎡（公社先行取得分含む。） 平成28年度から令和6年度までは用地取得、令和7年度から道路工事を予定している。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	用地取得進捗率	%
			実績	49.5	54.5	
			達成率	90%	84%	
2	道路築造進捗率	%	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
事業費（千円）	22,309	130,966	113,819	—	
財源内訳					
一般財源	12,126	53,705	64,264		
国都支出金	10,183	61,861	49,555		
その他	0	15,400	0		
人件費					
会計年度任用職員以外の職員（千円）	487	479	1,452		
所要人員（人）	0.06	0.06	0.19		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）	22,796	131,445	115,271		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当		
<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		


令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、当初3件の用地取得を目指していたが、年度内に除却まで完了せず1件分の取得にとどまった。一方、当初の予定にはなかった地権者について急遽契約がまとまり1件の取得へとつながった。また、今後の用地取得へ向け地権者に対し複数回折衝を行った。	用地取得については、地権者の事業への理解が必要であり、用地取得が進むにつれて計画的な用地取得の見通しを立てることが難しくなるが、引き続き丁寧な説明に努めていく。

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
道路の供用開始へ向け、用地取得については、進捗するほど難航してくると予想しているが、引き続き丁寧な説明をして用地取得に努める方針である。		今後の方向性	
また、道路築造については、当初想定していなかったが、東京都が推進している無電柱化の状況を勘案し、新たに当該路線に無電柱化を導入することとした。令和4年度には、無電柱化について予備設計を行う。		コスト	
今後、用地の進捗に合わせて一部道路の先行整備について検討を始め、早期の供用開始に努める。		削減	維持
成果	向上		○
	維持		
	低下		

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)



武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	榎地区まちづくり事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路				
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係	内線	272
	根拠法令等	都市計画法、道路法				
目的	榎二丁目地区のまちづくりの整備手法等を検討し、地域住民等の意見を踏まえて整備計画を策定し、秩序ある市街地の整備を行う。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	東西道路のネットワークの構築をはじめ、地区住民の意見を踏まえ地区の課題の洗い出しを行い、榎地区のまちづくりについて検討を行う。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1	年度業務の計画的な推進	—	目標	推進	推進	推進
				実績	推進	推進	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
事業費(千円)	5,995	14,102	14,542	—		
財源内訳						
一般財源	5,995	14,102	14,542			
国都支出金	0	0	0			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	3,653	3,590	3,439			
所要人員(人)	0.45	0.45	0.45			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	9,648	17,692	17,981			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
まちづくり及び都市計画変更に係る住民説明会等を実施し、立川都市計画道路3・4・17号桜街道線の都市計画道路の変更を行った。	都市計画道路の整備の推進だけでなく、榎地区全体のまちづくりについて市民と協働で調査検討を行っていく必要がある。

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了


榎地区（榎一丁目の一部及び榎二丁目の全域）は、市の基本構想など上位計画に位置付けられた「都市核地区」に隣接し、市民生活の利便性や良好な住環境の向上を図るため、都市核地区及び榎地区の幹線道路の整備を推進する必要があることから今後も継続していく。なお、令和5年度以降、道路築造までに係る業務については、業務包括委託を予定している。

- 令和4年度：事業計画検討
- 令和5年度～令和6年度：事業認可取得
- 令和7年度～令和9年度：用地取得、物件補償
- 令和10年度～令和12年度：道路築造工事

		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 66号線拡幅整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備部 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	道路法		
目的	(主) 66号線(区間: 神明四丁目75番地先~新青梅街道、幅員6m、延長約54m)の拡幅部分については、既に土地開発公社が道路用地として先行取得しており、現在は同社の借入金へ利子補給を行っている。 隣接する多摩都市モノレール用地を令和5年度に東京都で買収するため、それに合わせて本市においても予定地を測量のうえ買収する必要がある。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	用地取得及び拡幅工事 用地取得面積: 120.0㎡ 工事延長: 54.0m			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				目標	実績	達成率
1	用地取得件数	箇所	目標	1	1	1
				実績	0	0
				達成率	0%	0%
2	拡幅工事件数	件	目標	1	1	1
				実績	0	0
				達成率	0%	0%

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	-			
事業費(千円)	2	1	1				
財源内訳	一般財源	2	1				
	国都支出金	0	0				
	その他	0	0				
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	82	80				77
	所要人員(人)	0.01	0.01				0.01
	会計年度任用職員(千円)	0	0				0
	所要人員(人)	0.00	0.00				0.00
合計(事業費+人件費)	84	81	78				


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
平成26年度から利子補給を実施している。	-

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
(主) 66号線の拡幅整備に当たり、東京都による事業の進捗と合わせ、実施計画事業として要求する。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	国立感染症研究所周辺道路整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備部 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	国立感染症研究所施設周辺安全対策等事業費補助金補助要綱		
	目的	国立感染症研究所の周辺道路のうち、損傷等による道路環境の悪い路線について補助金を活用して順次改修し、道路環境の改善を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	生活道路に限らず国立村山医療センター北側道路（（主）21号線、区間：学園二丁目37番地先～神明一丁目50番地先、幅員5.5m～8.0m）や江戸街道（（主）1号線、区間：学園通り交差点～団地西通り交差点、幅員12m、延長約630m）などの幹線道路においても劣化が認められることから、補助金が廃止されない限り舗装等の改修工事を実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				目標	実績	達成率
1	舗装等改修工事	路線	目標	2	3	1
				実績	2	3
				達成率	100%	100%
2	-	-	目標	-	-	-
				実績	-	-
				達成率	-	-

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		17,300	23,841	2,000
財源内訳	一般財源	0	1	0
	国都支出金	17,300	23,840	2,000
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	4,058	5,982	765
	所要人員（人）	0.50	0.75	0.10
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		21,358	29,823	2,765

**市民・議会等から寄せられた意見**


今年度までに、市議会議員から、学園三丁目内の市道について、当補助金を活用して改修してほしいとの要望が2件寄せられている。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●（主）73号線整備工事（舗装工1,300㎡）</li> <li>● B-28号線整備工事（舗装工654㎡）</li> <li>● B-50号線整備工事（舗装工694㎡）</li> <li>● 改修路線舗装構造評価調査委託料（462,000円）</li> </ul>	厚生労働省による補助金交付期限が明確でないことが挙げられる。

令和4年度の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
教育委員会による学校改修補助事業等の不用額を当事業で執行しており、令和4年度は令和5年度に予定する江戸街道（（主）1号線）の改修に備えた劣化度判定調査委託のみ実施する。																			
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト			削減	維持	増加	向上			維持	○		低下		
	今後の方針																		
	コスト																		
削減	維持	増加																	
向上																			
維持	○																		
低下																			
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）																			

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	市道隅切等整備事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	管理 係	内線	266
	根拠法令等	道路法				
目的	見通しの悪い交差点等における視認性の向上を目的とし、隅切りを設置するために必要な用地を買収するもの。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	昭和48年度から事業開始し、令和3年度末までの実績は340箇所である。毎年1、2箇所程度準備していく計画である。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	隅切事業整備箇所数	箇所
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		0	707	2,400		警察から道路交差点の視通不良による、事故の恐れがあるため、道路管理者として対策するように要望があった。
財源内訳	一般財源	-	707	2,400		
	国都支出金	-	0	0		
	その他	-	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	82	80	77		
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		82	787	2,477		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		見直しの余地がある		非該当	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
類似事業等との統合は可能か	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効果性	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
【昭和48年度から令和3年度末まで】 用地取得費：148,300千円 物物件補償費：15,054千円 測量調査委託料：8,299千円 不動産鑑定評価委託料：7,152千円 合計：178,805千円 昭和48年度から令和3年度までに340箇所の整備等を実施した。	隅切り等用地取得は、用地の交渉や用地引き渡しまでの更地化に時間を要することから、年度を跨ぐことも想定される。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 引き続き実施計画事業として要求し、市民等の要望に応じていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> (廃止・休止・終了の場合は記入不要)			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	既設道路整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備部 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
	目的	市で管理する道路における小規模な舗装及び街きよ等の補修を実施するための工事請負費であり、危険性や重大性の高いものから順位をつけて道路を整備し、道路環境の改善を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	本事業の内訳は、100～300万円程度の舗装改修工事が中心である。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	舗装等改修工事	箇所
			実績	24	29	
			達成率	120%	145%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		37,962	46,018	45,000	
財源内訳	一般財源	3,862	5,518	4,500	
	国都支出金	34,100	40,500	40,500	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	16,232	19,940	19,105	
	所要人員(人)	2.00	2.50	2.50	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		54,194	65,958	64,105	

本事業では、生活道路を中心とした比較的に小規模な道路補修工事を実施している。  
市民及び市議会議員を通じた要望件数は多く、限りある予算の関係上、受付年度に全てを対応できていないものの、工事の施工に対しては要望者から喜びの声がある。

視点別の分析	妥当性	市民の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当	
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
効果率	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
性	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	


令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●その1工事(13箇所): 17,766,496円</li> <li>●その2工事(16箇所): 16,842,044円</li> <li>●(主)63号線側溝改修工事: 7,150,000円</li> <li>●すずかけ橋伸縮装置改修工事: 3,850,000円</li> <li>●なかよし橋欄干補修工事: 408,540円</li> </ul>	直営以外の補修工事は、その大部分を本事業により実施している。既設道路は損傷による劣化が進行し、現在の予算規模では将来的に多額の費用を要する。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
安全で円滑な交通環境を確保するため、一般市道等における道路破損箇所の舗装、補修等を実施するものであり、施工箇所と工法を精査しながら事業を執行するとともに、令和4年度は本市の実情に見合った成果が見込める路線(工法)について実施計画事業として要求する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)



武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	私道整備補助事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 2 道路		
	所管部署	都市整備部 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	私有道路整備事業費補助金交付要綱		
	目的	私有道路の整備工事等に要する費用に対して補助金を交付することにより、私有道路における交通安全の確保と利用者の生活環境の向上を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	路面舗装、雨水排水施設及び街きょ整備の各工事は補助率8割、雨水排水施設浚渫作業は同5割としている（どちらも見積額と基準額を比較し、少ない額を補助する）。			
対象（交付先）	私有道路の整備工事等を行う者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	整備工事等	箇所
			実績	1	1	
			達成率	50%	50%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算		
補助金	交付金額（千円）	542	635	2,000	市民・議会等から寄せられた意見							
	一般財源	542	635	2,000	市民や議員からは、それぞれ例年1、2件程度の相談が寄せられる。							
	国都支出金	0	0	0	他市等の状況							
	その他	0	0	0	【令和4年6月1日現在の26市状況】							
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,218	1,197	1,147	●全額市費対応：立川市ほか14市							
	所要人員（人）	0.15	0.15	0.15	●補助金制度：八王子市ほか8市							
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	●市役所非関与：青梅市、清瀬市							
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00								
合計（補助金+人件費）				1,760	1,832	3,147						

交付団体等の決算予算の状況				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算		
収入	総額（千円）	678	794	2,000	交付団体等の令和3年度の市補助金の使途							
	市補助金	542	635	2000	交付金額（千円）							
	会費	-	-	-	工事請負費							
	繰越金	-	-	-	635							
	事業収入	-	-	-								
	その他	136	159	-								
支出	総額（千円）	678	794	0	割合（%）							
	交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合							
	人件費	-	-	-	—							
	事業経費	678	794	-	団体収入に占める繰越金の割合							
	その他	-	-	-	—							
										交付金額に対する繰越金の割合		
										—		

視点別の分析	公益性				
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない	<input type="checkbox"/> 非該当	
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和3年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
本事業は、平成23年度まで申請に基づき市の発注で改修工事を実施していた（同年度の実績は予算16,000千円、執行額15,752千円。執行率98.4%）。平成24年度から現在の補助金制度へ移行し、同年度は補助金として5,000千円を計上したが未執行であった。令和3年度の実績は以下のとおり。 【実施箇所】 残堀5-142-9 【工事内容】 ①L形側溝整備工（延長=9.0m） ②舗装打換工（面積=50.0m <sup>2</sup> ） 【工事代金】 793,650円 【補助金額】 634,920円		受益者の負担割合を増やすと、私有道路の所有者による維持管理はおろそかとなる可能性が高い。 令和4年度に多摩26市の運用状況を調査した結果、事業未実施は2市、全額市費負担は15市、補助金制度は9市（補助率内訳：9割2市、8割5市、7割1市、5割1市）であり、一般交通に私有道路が供されている実態からも、負担割合を変更することは難しい。	

令和4年度の方針


【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了  
 私有道路における交通安全の確保や市民の生活環境を整備する上で必要であることから、引き続き実施計画事業として要求し、市民等の要望に応じていく。

今後の方針			
成果	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

所管課の評価

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	公共汚水柵設置事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道				
	所管部署	都市整備部	道路下水道課	工事係	内線	267
	根拠法令等	公共汚水柵設置に関する取扱基準				
	目的	住宅等の新設等に伴い必要となる公共汚水柵の整備を行う。				SDGsの取組 6 安全な水とトイレを世界中に 
内容	公共汚水柵の整備を毎年度適宜実施する（平均15箇所）					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	1	※市民からの設置要望に対し、市が設置する事業であるため、評価指標を設定することが困難。	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
達成率				—	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見					
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算						
事業費（千円）	6,148	11,623	8,000	—					
財源内訳	一般財源	0	0				0		
	国都支出金	0	0				0		
	その他	6,148	11,623				8,000		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	650	639				612		
	所要人員（人）	0.08	0.08				0.08		
	会計年度任用職員（千円）	26	27				29		
	所要人員（人）	0.02	0.02				0.02		
合計（事業費+人件費）	6,824	12,289	8,641						


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効果性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和3年度は、14件の公共汚水柵の設置申請があり、全てに対し設置を行った。	—

令和4年度の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	
今後も引き続き、公共汚水柵の設置要望に対し設置を行っていく。	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
成果	今後の方針			
	コスト			
		削減	維持	増加
	向上			
維持		○		
低下				

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	管渠改良事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道				
	所管部署	都市整備部	道路下水道課	工事係	内線	267
	根拠法令等	下水道法				
目的	交差点拡幅等の道路改良の際に、道路下に埋設している下水道管について移設する必要が生じるため、管きよ及び取付管の改良工事等を実施する。				SDGsの取組 6 安全な水とトイレを世界中に 	
内容	管きよ及び取付管の敷設替えを実施する。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	※交差点拡幅等の道路改良事業に伴い発生する事業のため、評価指標を設定することが困難。	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費(千円)	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	0	72,473	222,669			
国都支出金	-	0	0			
その他	-	72,473	222,669			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	487	479	1,452			
所要人員(人)	0.06	0.06	0.19			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	487	72,952	224,121			

視点別の分析	妥当性		有効性		効率性		
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当				

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、3件の管きよ改良工事を実施した。1件は、管きよの劣化による管きよ更生工事、1件は、都道交差点改良工事に伴う管きよ敷設替え、残る1件は、空堀川河川改修工事に伴う管きよ改良工事である。	すいすいプラン(交差点改良事業)等の東京都の事業に伴う管きよ敷設替えについては、都の事業進捗状況に左右されるため、敷設替えを行う時期が変更となる可能性がある。 また、今後実施が想定される新青梅街道の拡幅事業が開始された際には、下水道管の移設工事を全線行う必要があり、事業費が数十億円必要となる試算である。なお、新青梅街道の拡幅工事に併せて実施するためその時期は未定である。

令和4年度の方針																				
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 令和4年度については、交差点改良に伴う改良工事2件、管きよの劣化による改良工事1件、その他敷設替えを1件予定している。 事業の推進に当たっての課題に記載したとおり、今後実施が想定される新青梅街道の拡幅事業が開始された際には、下水道管の移設工事を全線行う必要があり、工事費等の事業費及び従事するための事務事業量が膨れ上がると想定している。	今後の方針 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (廃止・休止・終了の場合は記入不要)	成果	コスト			削減	維持	増加	向上			○	維持				低下			
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上			○																	
維持																				
低下																				

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	下水道ストックマネジメント事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	工事 係 内線 267
	根拠法令等	下水道法		
目的	武蔵村山市下水道ストックマネジメント計画及び武蔵村山市下水道ストックマネジメント実施方針に基づき、計画的に点検、調査、施設の改築等を実施する。		SDGsの取組 6 安全な水とトイレを世界中に	
内容	1期当たり7年（点検調査（2年）、計画策定（1年）、実施設計及び工事（4年））かけて実施し、第1期から第7期（令和2年度から令和26年度）の7つの工期に分けて実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	事業完了までに要する全ての作業工程（7作業×7工期=49工程）に対する事業進捗率	%	目標	2	4
			実績	2	4	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		40,442	44,325	27,600		—
財源内訳	一般財源	0	0	0		
	国都支出金	10,500	8,925	5,775		
	その他	29,942	35,400	21,825		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	244	240	230		
	所要人員（人）	0.03	0.03	0.03		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		40,686	44,565	27,830		


視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止した場合の市民への影響 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input type="checkbox"/> 受益者負担は適切か <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の更なる削減は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 施策への貢献度は適切か <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事業等との統合は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、第1期のうち調査の2年目（マンホールふた箇所=586箇所、管きょ延長=13,742m）を実施した。	公共下水道管のストックを継続して適正に維持管理していく上で当該事業は必要不可欠であるが、市内全域の管きょ延長約273Kmを対象に1期7年、7期にわたる長期の事業となり、事業費が膨大である。 また、第7期が完了した時点で、また第1期に戻り永続的に事業を進めていくことが予想される。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
令和4年度については、第1期で実施した2年間分の調査結果（マンホールふた箇所=1,145箇所、管きょ延長=27,480m）を受けて、改築に必要なポリウムを精査し、令和5年度以降に実施する工事の詳細設計及び工事のための計画を作成する。 今後も継続してスケジュールに沿って事業実施を進めていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						



武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	空堀川上流雨水幹線整備事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 4 下水道			
	所管部署	都市整備部	道路下水道課	下水道係	内線 255
	根拠法令等	下水道法			
	目的	本市南東部の大南地区は雨水の排出先である空堀川より地盤が低く、本市単独で河川に排出することが困難であるため、立川市、東大和市及び本市の雨水をまとめて排出する「流域雨水幹線」を、東京都下水道局流域下水道本部において施設整備することが決定し整備を進めた。関係市町は、その建設に係る費用の一部を負担する。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	平成30年度：空堀川流域広域雨水整備検討協議会及び幹事会の開催 整備手法の検討・方針決定 令和元年度～令和4年度：設計及び建設局河川部との協議等 令和4年度～令和12年度：工事				

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	設計及び建設局河川部との協議等	—
2	—	—	目標 実績 達成率	— — —	— — —	— — —

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費(千円)	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—		
財源内訳	1,340	2,218	8,174			
一般財源	1,340	2,218	8,174			
国都支出金	0	0	0			
その他	0	0	0			
人件費	0	0	0			
会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	1,340	2,218	8,174			


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
空堀川雨水幹線建設に伴う土質調査委託等を実施した。	雨水に関する費用であることから、一般会計の負担となるが、財源は一般会計からの繰出金となるので、工事の内容によっては、年度ごとの負担にばらつきがある。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
東京都が整備する立川市、東大和市及び本市の雨水をまとめて排出する流域雨水幹線の整備費を負担するものであり、抜本的な雨水対策を図るため、東京都及び関係市との連携による整備の促進が求められることから、今後も継続する必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (廃止・休止・終了の場合は記入不要)	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							



武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	廃棄物資源分別事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 5 廃棄物処理とリサイクル		
	所管部署	協働推進 部	ごみ対策 課	ごみ対策 係 内線 292
	根拠法令等	武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画		
目的	市内の家庭等から収集等をした資源ごみの中から資源になるものを市内のリサイクルセンターに搬入、選別し、資源化処理を行う。 回収品目は、金属類、ビン類、ペットボトル、紙類、布類、プラスチック、剪定枝、有害物（乾電池、蛍光管など）である。		SDGsの取組 12 作る責任 使う責任	
内容	回収した資源物（金属類、びん類、紙類、布類）は資源化業者に売却し、ペットボトル、プラスチック、剪定枝、有害物（乾電池、蛍光管など）は資源化業者に資源化処理を委託する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	目標指標 資源化率（エコセメントを含む。）	%
			実績	35.4	34.7	
			達成率	101%	99%	
2	モニター指標 資源化率（エコセメントを除く。）	%	目標	26.2	26.4	28.3
			実績	28	27.1	
			達成率	107%	103%	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		130,425	127,662	107,452
財源内訳	一般財源	113,750	96,528	49,321
	国都支出金	0	0	0
	その他	30,795	48,938	58,131
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,624	1,955	2,064
	所要人員（人）	0.20	0.25	0.27
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		132,049	129,617	109,516

**市民・議会等から寄せられた意見**


令和元年度第4回廃棄物減量等推進審議会において、委員より家庭ごみの有料化及び戸別収集の導入に当たり、市民に対してごみの分別及び資源化について、わかりやすく周知すべきであるとの意見があった。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度の資源物回収実績として、回収量は約4,249 t、資源化率は34.7%であった。 また、市民のごみに対する意識の向上を目的としたごみ情報誌を年4回（4月、7月、12月、2月）発行し、資源物の排出方法について記載するとともに、7月号では、資源物の分別に特化した内容とし周知を図った。	市報、市ホームページ、ごみ情報誌等を使用し、資源物の分別について周知を図っているが、令和3年度の家庭ごみ組成分析調査において、資源物が可燃ごみに約22%、不燃ごみに約13%含まれていた。 このことから、家庭から排出されるごみの中には、一定量の資源物が含まれているため、市民に対し、更なるごみの資源化及び減量化に対する意識の向上を図るとともに、分別の徹底を促すことが重要である。

令和4年度の方針																											
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																											
所管課の評価	令和4年10月から導入する家庭ごみの有料化及び戸別収集により、これまで一括回収していた容器包装プラスチックとペットボトルを分別収集することとしている。																										
	現在、一括回収した容器包装プラスチック及びペットボトルは、リサイクルセンターに搬入、分別し、小平・村山・大和衛生組合の資源物中間処理施設に搬入しているが、10月以降は分別収集した容器包装プラスチックとペットボトルをそれぞれ直接、資源物中間処理施設に搬入することとなる。																										
	そのため、リサイクルセンターにおいて分別を行う資源物の搬入量及び分別品目が10月以降、減少する見込みである。																										
	なお、容器包装プラスチック及びペットボトルの分別収集については、市民説明会やごみ情報誌などを通じて情報提供を行い、分別の徹底を促していく。																										
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="4">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			今後の方針					コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
今後の方針																											
	コスト																										
	削減	維持	増加																								
成果	向上	○																									
	維持																										
	低下																										
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）																											

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	家庭ごみ有料化準備事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 5 廃棄物処理とリサイクル				
	所管部署	協働推進 部	ごみ対策 課	減量推進 係	内線	292
	根拠法令等	武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画				
目的	良好な環境の次世代への継承、ごみの減量及び資源化の推進、排出量に応じた負担の公平性の確保及びごみに対する意識の向上を目的とし、家庭ごみ有料化及び戸別収集の導入を推進する。				SDGsの取組 12 作る責任 使う責任 	
内容	家庭ごみ有料化及び戸別収集の導入に当たり、実施計画の策定など、具体的事項の検討を進めるとともに、ごみに関する意識啓発を目的としたごみ情報誌の発行等、市民への周知を行う。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	ごみ情報誌の発行回数	回
			実績	2	4	
			達成率	100%	100%	
2	排出物原単位（市民1人1日当たりのごみ、資源の排出量）	g/人日	目標	748	740	683
			実績	791.5	772.4	
			達成率	106%	104%	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 令和元年度第4回廃棄物減量等推進審議会において、委員より家庭ごみ有料化及び戸別収集について、市民に分かりやすく周知すべきであるとの意見があった。
事業費（千円）		2,172	2,675	575,504	
財源内訳	一般財源	2,172	2,675	148,607	
	国都支出金	0	0	124,785	
	その他	0	0	302,112	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	10,957	14,437	41,037	
	所要人員（人）	1.35	1.81	5.37	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		13,129	17,112	616,541	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>家庭ごみ有料化及び戸別収集の導入に向けた実施計画の策定に向け、パブリックコメント及び市民説明会を経て、令和3年10月に実施計画を策定した。</p> <p>また、実施計画の内容を踏まえ、廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部改正を令和3年11月に実施した。</p> <p>さらに、家庭ごみ有料化及び戸別収集の内容の周知、市民のごみに対する意識の向上を目的としたごみ情報誌を年4回（4月、7月、12月、2月）発行した。</p>	<p>市民への周知について、ごみ情報誌の発行など、情報提供の頻度を増加し、対応しているが、導入に向けて、更なる周知啓発が必要である。</p>

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
<p>令和4年度は、収集運搬に係る経費や指定収集袋の作成、管理等に係る経費等を含め、事務事業を実施していく。</p> <p>なお、令和4年度は、家庭ごみ有料化の導入に向けた具体的な準備（戸別収集移行後の排出場所調査の実施、指定収集袋の作成及び販売の開始など）のほか、市民周知の機会として、ごみ情報誌の発行以外にも、市民説明会の実施、ごみ分別辞典の市内全戸配布、コールセンターの設置などを経て、令和4年10月から家庭ごみ有料化及び戸別収集を開始する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（廃止・休止・終了の場合は記入不要）</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	生ごみ処理容器「ミニ・キエーロ」モニター事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第2節 都市基盤 5 廃棄物処理とリサイクル		
	所管部署	協働推進 部	ごみ対策 課	減量推進 係 内線 292
	根拠法令等	生ごみ処理容器「ミニ・キエーロ」モニター事業実施要領		
目的	家庭から排出される可燃ごみの約4割が生ごみであることから、モニター事業を通じて、生ごみの減量に向けた手法の提供及び意識啓発を行う。		SDGsの取組 12 作る責任 使う責任	
内容	生ごみ処理容器「ミニ・キエーロ」一式（容器本体、黒土、移植ごて）を、希望する世帯に配布し、実際に生ごみを処理することで、「ミニ・キエーロ」による減量効果等を確認し、今後の生ごみ減量に係る施策に反映させていく。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	モニター参加世帯数 ※令和4年度は工作教室参加世帯数	世帯
			実績	200	200	
			達成率	100%	100%	
2			目標			
			実績			
			達成率			

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		654	652	112
財源内訳	一般財源	8	14	2
	国都支出金	0	0	0
	その他	646	638	110
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,543	1,516	459
	所要人員（人）	0.19	0.19	0.06
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		2,197	2,168	571

**市民・議会等から寄せられた意見**

モニター事業参加者アンケートにおいて、以下の意見が寄せられている。

- 家庭から出る生ごみを全て処理するには、配布する容器では容量が小さい。
- 使用してみてごみの減量に興味があった。
- 実際に作る機会を設けてほしい。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、令和元年度及び令和2年度に引き続き、モニター参加者の募集を行った。説明会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催せず、ごみ情報誌やごみ分別アプリ等での広報のみを行ったが、参加世帯数については、令和元年度及び令和2年度と同様に目標とする200世帯を達成した。	モニター参加者には、容器本体及び黒土といったサイズが大きく、重量のあるものを配布していることから、自家用車で受け取りに来ることが困難な場合、市職員による配送を行っており、配送に係る負担が大きい。 モニター参加者からは、配布する容器では容量が小さいため、追加配布の要望を受けることがあったが、多くの世帯の参加を促す観点から、追加配布は断らざるを得なかった。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
当モニター事業については、開始当初から令和元年度から令和3年度までの3か年の事業として実施しており、令和3年度での終了が妥当である。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	○																						
	低下																							
しかしながら、モニターアンケートの結果から、引き続き「ミニ・キエーロ」を使い続けたいという意見が回答者の8割を超えるなど、生ごみの減量に向けた意識の高揚が見られ、「ミニ・キエーロ」は、生ごみの減量に対し、一定の効果があることが確認できた。																								
「ミニ・キエーロ」自体は、プランターに屋根を設置したような簡易な構造の生ごみ処理容器であることから、令和4年度は、「ミニ・キエーロ」工作教室を開催するなど、家庭での自作を通じた「ミニ・キエーロ」の普及を促進していく。																								

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）